

令和8年度中を予定している「城端線・氷見線事業構造変更プログラム」の策定に向け、運行本数の増加とパターンダイヤ化について基本的な考え方を整理するもの。

再構築実施計画での運行本数の増加とパターンダイヤ化に関する内容

1. 朝夕の通勤・通学時間帯の増便や増車による混雑の緩和
2. 日中時間帯のパターンダイヤの導入(1時間に約2本の運行)
3. 日中時間帯の運行本数増による高岡駅での城端線・氷見線の接続時分短縮

あいの風とやま鉄道との接続時分も考慮

- 現行 城端線 42本/日、氷見線 36本/日 ⇒ それぞれ60本程度/日に増
- 城端線・氷見線ともにあいの風とやま鉄道 高岡～金沢間(63本)並みの運行本数まで増やす
- 現行 24両 ⇒ 34両に増(新型車両導入)

参考: 第5回城端線・氷見線再構築検討会資料より(令和5年12月18日開催)

運行本数の増加とパターンダイヤ化について



- ☑ 1日あたりの**運行本数**
城端線42本 ⇒ **+18本**、氷見線36本 ⇒ **+22本** に増
- ☑ 概ね**10～15時台に30分間隔でのパターンダイヤ**を導入

※平日ダイヤを想定

学生や社会人の方にとって

- 通勤・通学ラッシュ時間帯の混雑を緩和し、快適な通勤・通学を可能に
- 通勤・通学時間の選択肢を増やす



💡 通勤・通学時間の増便、増車のイメージ

		5～9時台				15～23時台			
		便数		車両数		便数		車両数	
		現行	増便数	現行	増車数	現行	増便数	現行	増車数
城端線	下り	6本	+3本	14両	+8両	9本	+2本	22両	+2両
	上り	7本	+2本	17両	+7両	9本	+2本	21両	+1両
氷見線	下り	6本	+3本	14両	+8両	9本	+1本	15両	+5両
	上り	6本	+2本	16両	+4両	8本	+3本	14両	+8両

日中、観光利用の方にとって

- 利用者にとって分かりやすいダイヤに
- あいの風とやま鉄道の日中のパターンダイヤ時間帯において高岡駅での乗換時間を一定に
- 高岡駅での乗換時間を少なくし、目的地までの移動時間を短縮



💡 概ね10～15時台に30分間隔でのパターンダイヤを導入

現行ダイヤ(例)城端線下り	10時台	13	59
	11時台	51	
	12時台	51	
	13時台	47	
	14時台	30	
	15時台	42	

➔

パターンダイヤイメージ	10時台	20	50
	11時台	20	50
	12時台	20	50
	13時台	20	50
	14時台	20	50
	15時台	20	50

💡 10～15時台の高岡駅での乗換時間の短縮

現行 平均26分 ➔ 移管後 **平均15分** 程度